



月刊音声セミナー

村尾隆介の

出版deブランディング

10

ブランド戦略の専門家 村尾隆介

出版を考えている人、出版をステップに  
自分ブランドを強化したい人に贈る、  
パーソナルブランディングと出版のノウハウ。  
村尾隆介の月刊音声セミナーのテキスト版！



村尾隆介

出版でブランディングするということは、どういうことなのか？小さなブランド専門家として多くの著作を世に出し、出版プロデューサーとしても活躍する村尾隆介が出版とブランディングについて語ります。

**ハードルの高いことに挑戦することがブランド力を上げる条件**

グローバルリーダーを目指す人たちが増加

早川 プロインタビュアーの早川洋平です。村尾隆介の「出版deブランディング」第10号をお届けします。村尾さんよろしくお願ひします。

村尾 よろしくお願ひします。

早川 リスナーの方は分からないと思いますが、村尾さん、その腰に巻いているモノは何ですか？

村尾 先週、35歳以上の草ラグビーの世界大会が福岡でありまして、世界中から4千人が集まりました。僕はラグビー経験者ではありませんが、オーストラリア戦に出場しました。20分の試合を3本やるルールだったので、最初の20分で鼻血を出して、次の20分で右あばら骨を骨折し、最後の20分で左あばら骨を骨折しました(笑)

早川 本来は、絶対安静の状態ですが、村尾さんのプロフェッショナルリズムのおかげで、この収録が行われています。

村尾 「あの巨体によく突っ込んだ」と観客も楽しんでくれたみたいだったので、良かったです。

チームメンバーも、僕が主導で集めたチームだったので、僕がベンチにいて「みんなやるうよ」といっても誰もやってくれないわけです。僕が突っ込んでいったことにより、みんなが奮起してくれた。本当にいろんな意味でよかったです。

早川 このような状態で収録するのは心苦しいですが(苦笑)、リスナーの方も楽しみにしているので、番組を始めたいと思います。

初めて聴く方のために、改めてこの音声セミナーの内容を説明してもらえますか。

村尾 このセミナーは2段構造になっています、パート1は今後、作

## 目次

第1章 ハードルの高いことに挑戦することがブランド力を上げる条件

グローバルリーダーを目指す人たちが増加

電子書籍の時代だからこそ、より質の高い情報発信が必要

第2章 村尾隆介の未来の出版物を発表

アイデアマンになりたかったら、気配り屋になれ！

第3章 読者の悩みを解消する誌上コンサルティング

優秀な編集者は、モチベーター兼聞き上手

同じ担当者として2冊目を出す

担当者の持ち物や服装で本の装丁が決まる

第4章 村尾隆介が紹介！ 集中時のパワーソング！

執筆の前後に聴きたい曲

※本テキストは、音声セミナー「出版deブランディング」第10号を抜粋・編集して制作したものです。

家として僕が書きたい本のリストの中から、早川さんがピックアップした1冊についてプレビュー的にトピックをしていきます。パート2は「今後出版したい」または「出版したけどうまくブランド化に生かせていない」方からの質問に答える形で、出版ブランディングについてお話ししようと思っ

早川 最近本や書店について思うことはありますか？

村尾 僕は、本屋は日本の社会の縮図だと思っています。雑誌の特集からは日本の興味が、平積みの本のタイトルからは今後の日本の方向性が見えてきます。本を買わなくても、書店に行つて日本の現状を探ることは社会人としてとても重要なことだと思います。

この間思ったのが、**グローバルリーダーを目指すための本が増えてきた**という事です。以前は、会社の中でスキルアップするための本が多かったのですが、最近では外資系で働くにしても、海外で働くにしても、今の会社が外資系に乗っ取られたとしても、グローバル基準ですぐさま働ける人材になるための本が増えてきたと思います。

早川 確かにそうですね。僕自身もそういう本を読むことがあるのですが、時代そのものが変わってきていますか？

村尾 今までは、日本は大丈夫だけど会社がダメになるかもしれないから、生き残る道を探そう、転職できるようにスキルアップしようという本が主流でした。最近では、日本がダメになつてもグローバルで働けるようになるための本が、まだ一部の人間向けかもしれませんが、流行りつつあると思います。

早川 村尾さんにも、そのような本を出版してもらいたいですね。

村尾 このリストにはありませんが、小さな会社が世界に向けて英語でプレゼンテーションできるようになる本を書いてほしいというオフアアが2週間前にありました。

早川 ぴったりですね。村尾さんにしか書けないと思いますよ。

村尾 これも出版社がそのような方向に目を向け始めた証拠だと思います。そういう人たちは本を買って読むので、**グローバルエリートになる人**とならない人の完全なる二極化が生じるでしょうね。

電子書籍の時代だからこそ、より質の高い情報発信が必要

早川 最近、キンドルストアのオープンで電子書籍が話題になりつつありますが村尾さんはどう思いますか？

村尾 面白いですね。今世紀最後のアナログボーイと言われる僕ですが(笑)、著者として一応動向は気にしています。

僕は自著の中でも、オーディオブックになったものも、海外で出版されたものもありますので、電子書籍化についても、話があれば抵抗なく受け入れる予定です。

今後は、出版社ではやらないようなおバカな企画は、自分でレーベルを立ち上げて、そこで出版したいと思います。

また、日本人が英語で本を出版するのは、とてもハードルが高いんですね。先ほど海外で出版したと言いましたが、日本で1万部を超えますと、中国・韓国・香港辺りではオートマチックに出版できます。

しかし、英語圏での出版は、博士だったりベストセラー作家だったりしない限りとてもハードルが高いです。大前研一さんクラスでないと、日本人が英語圏で出版するのはすごく難しいです。

しかし、それを実現できるのが電子書籍だと思います。それなので、僕は日本人が書いた本を英語で発信するためのレーベルを一つ電子書籍で立ち上げたいと思います。この二つはプラン中です。

早川 誰でも出版できる時代だからこそ、出版社から声がかかるような質の高い情報を発信することが大事ですね。

村尾 参入障壁が低いモノは自分のブランド力を上げません。他者が成し遂げられないようなことをしたからこそ、カリスマ、ヒーロー、ブランド人などと呼ばれるわけです。参入障壁が低いもので、ヒーローになるには、よっぽどコンテンツの質が高くないと難しいです。

今後、電子書籍の比重が大きくなり、僕の発言が根底から覆る可能性もあります。現時点では、紙の書籍の方がハードルが高いので挑戦する価値があると思います。紙の本でファンをつくり、そのファンが電子書籍も読んでくれるという流れの方がブランド力は上がります。

早川 この数カ月でその前提がひっくり返ることはないでしょうね。

村尾 現段階では、電子書籍もホームページもブログもニアリーイコ

ルの状態です。誰もが知っているようなポータルサイトやブログを持っている方が、電子書籍よりも価値は高いかもしれません。電子書籍が話題だからといって、ひよろひよろと流れるのではなく、自分のブランド力につながるものを選択してほしいと思います。

早川 本質を見失わないことが大事ですね。

村尾 『[とおだけ屋はなぜ潰れないのか?](#)』の山田真哉さんのように、〇〇をやっている△△さんと呼ばれることが最終目標です。〇〇は書籍名がベストですが、ブログやホームページでも構いません。

早川 今日のオープニングも盛りだくさんでした。ありがとうございました。

サンプル版はここまでです。続きは、アマゾンにてダウンロードしてお楽しみ下さい。

出版 de ブランディング 第10号 【印刷可能PDF版プレゼント付】「Kindle版」

<http://bit.ly/muraosyuppan10>

## 村尾隆介の音声セミナーが2作同時リリース！

店長たちの「自分ブランド戦略」

<http://www.starbrand.co.jp/services/voice/category/tencho/>

ベストセラー『[小さな会社のブランド戦略](#) (PHP)』の著者・村尾隆介は、企業のブランディングのみならず、個人のブランド戦略にも深く関わっています。

過去10年のキャリアの中で、行き着いたひとつの結論は、「店長の姿勢や見せ方次第で大きく変わる」という点です。

キクタスのプロインタビュアー早川洋平さんと軽快なトークで、毎月お届けするこの音声セミナーは、全国の店長やマネージャークラスとして働く社会人、店長を統括する立場にいる方や、小さな会社の経営者の質問から織り成される、いわばオンラインのコンサルティンク。

通勤時にもちろんのこと、職場で仲間と一緒に聞くのもオススメです。

1. この音声セミナーの内容 (企画や時期によって変わることがあります)
1. 最近、お店で感じた「GOOD」と「BAD」
2. オンラインコンサルティンク (質問に対する回答)
3. 明日から取り組めるリーダーシップ
4. 店長のためのパワーソングの紹介
5. プレゼントコーナーとエンディング

村尾隆介の「出版 de ブランディング」

(本テキストのもととなった音声セミナーです)

<http://www.starbrand.co.jp/services/voice/category/murao/>

経営者やプロアスリートなどの「個人のブランド戦略」にも深く関わる村尾隆介が軽快なトークで毎月お届けする音声セミナー。「これから出版をしたい!」「出版をしたものの、その後の自分の見せ方に悩んでいる」という全国の方々からの質問を中心に展開をしています。

また、この音声セミナーでは作家・村尾隆介の裏舞台もお見せします。今後の出版計画や、その時代背景、そして制作のノウハウや雰囲気は、ここでしか聞けない話。出版に興味を抱く方には、きつと参考になると思います。

- この音声セミナーの内容（企画や時期によって変わることがあります）
1. オープニング…最近、本屋で感じたこと
  2. 村尾隆介…未来の出版物（仮題の発表と秘話）
  3. 出版に関するリスナーからの質問・回答（オンラインコンサル）
  4. 集中力を高めるためのパワーソングの紹介
  5. プレゼントコーナーとエンディング

発行日 2013年4月30日第1版

著者 村尾隆介

執筆協力 三村真佑美

編集協力 三村真佑美

制作 Textrage 編集部

〒244-0804

横浜市戸塚区前田町 516-1-B-110

MAIL : [tr-inquiry@kiqtas.jp](mailto:tr-inquiry@kiqtas.jp)

URL : <http://kiqtas.jp/>

c2013 Ryu Murao, Printed in Japan

本作品の内容を無断で複製・複写・放送・データ配信などすることは、固くお断りいたします。